

『ピカいち!!のまちづくり』って?!

Q & A



先人達が残してくれたこの三芳町をさらに発展させ、後世の子供達に渡して行かなくては
いけない。それは、今を生きる我々大人の責任であり使命だと思います。

三芳町の「町のかたち」をしっかり見つめ、変えるものは変え、守るものは守る。
単なるスローガンの連呼に終わるのではなく、現状の問題を打破する具体的な政策が必要です。
「ピカいち!!のまちづくり」の基本政策を実施すべく幾つかの政策を提言いたします。

Q1. ピカいち!!さんの政治姿勢は?

A. 政治家の不透明な政務調査費の用途等をめぐり政治への不信感が高まる中、私は、先ず議員報酬、政務調査費等を後援会会報、ホームページ上で情報公開し、政治への信頼を回復することに努めます。

見て下さい。



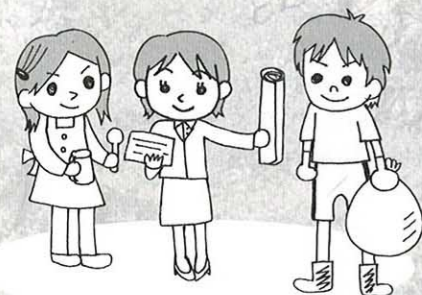
Q2. 議員さんの顔が見えないんですが…。

A. 選挙が間近になると、急に冬眠から目覚めたように動き始める議員さんが多くいるように思います。私は毎議会後、議会報告を行い、「ピカいち!!行政相談所」を設けて町民の皆さんの声が少しでも町政に反映できるようにいたします。



Q3. 市民活動を支援する「1%システム」って?

A. 近年、町民みずからの活動が、町の発展や活性化を支えている例が多くみられるようになりました。ところが、活動のためのお金をたくさん持っているわけでもなく、資金的な苦勞も多いのが現状です。
そこで、町民税の1%を使って、そのような活動を支援しようというのが「1%システム」です。「協働のまちづくり」を目指します。



Q4. 読書コミュニティーの充実って?

A. 赤ちゃんの時から本の読み聞かせをする「ブックスタート」があります。町ぐるみで、町の人によって読み聞かせをすることによって若い親たちの育児を支えます。そんなふうにも本を読む習慣を身につけた学校では、子供達がキレたり暴力をふるったりすることがないそうです。



Q5. 親同士が子育てを助け合うプレーセンターって?

A. いま、子供を持った親たちが子育ての負担や悩みにぶつかって、様々な問題をかかえることが多くなっています。そんななか、親たちがともに子育てを助け合うシステムが「プレーセンター」です。ここで子供をあずけ合っ、いづら自分の時間をもったり、子育てのコツを教え合ったりします。



Q6. 青少年育成ボランティア塾って?

A. 人の心を知り、自分を知り、助け合いの心を育むためには、ボランティアの体験を青少年の時期にすることは大切です。
未来の真の国際人を育て、思いやりのある人を育てるために、国内外でのボランティア塾の実施を提案します。



Q7. 農業体験教育ファームって?

A. 荒れた子供達の心を癒すのに、農村の自然や土や生きものとのふれあいが必要と考えられています。三芳は、首都近郊で有数の農業地域です。農業体験を学校教育に取り入れることによって、子供達のすこやかな心を育てることにつながります。また、日本の未来のために、子供達の心に農業を大切にすることを育てることができます。



Q8. 市民農園の支援って?

A. 市民農園は、町の人々にとって、土に親しむ楽しさや食べ物を自分で作る喜びを味わえ、健康的に体を動かすことができたり、畑で仲間を作ったり、たくさんのメリットがあります。そして、土に親しみ三芳を我がふるさとと感ぜられるようになります。
今後、高齢化社会の進行や社会的価値観の変化など市民農園の果たす役割は大きいと考えます。

